一定の投資性金融商品の販売にかかる

「重要情報シート」(個別商品編/ファンドラップ)

バージョン
20241107

1.商品等の内容	
金融商品の名称(種類)	MUFG ファンドラップ(投資一任契約)(以下「本商品」)
組成会社(運用会社)	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
販売会社 (投資一任契約の締結先)	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
金融商品の目的・機能	● 本商品は、三菱UFJ信託銀行が長年企業年金の運用で培ってきた運用ノウハウを用い、お客さまの大切なご資産を、安定的に運用し、資産運用ニーズに応える商品です。 ● お伺いしたお客さまの運用方針・投資経験・運用期間・リスクに対するお考え・資産状況等をもとに、当社がお客さまに相応しいと考える運用コース/スタイルをご提案いたします。お客さまと当社との間で投資一任契約を締結し、合意した運用コース/スタイルに基づき、投資一任運用を行います。
当社が想定するお客さま層	● 中長期的の資産形成を目的とし、元本割れのリスクを許容いただける方。 ● ポートフォリオの構築・見直しについて、継続的なコンサルティングを希望される方。 ● 特に、次のような方にご提案しています。 ・退職金等まとまった資金での運用を検討しているが、どのように運用したらよいかお悩みの方。 ・忙しくて資産運用には時間がとれない方。 ・マーケット等を見てご自分で運用の管理をするのが難しい方。 ● お客さまの投資意向やリスク許容度に応じて下記コースをご用意しております。 ①リスク分散コース:多種多様な投資対象への分散投資を行います。 ②下方リスク抑制コース:損失を抑制しつつ安定した収益の積上げをめざします。
パッケージ化の有無	● この商品の主な投資対象は、ファンドラップ専用の国内投資信託です。 ● これら国内投資信託を個別の金融商品として購入することはできません。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第 37 条の 6 の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

次のような
ご質問があれば、
お問合せください

Q1:あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。
Q2:この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
Q3:この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2. リスクと運用実績(本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。)

損失が生じるリスクの内容	● 本商品は、事前にお客さまと協議のうえ合意させていただいた範囲で、国内の公募投資信託で運用する金融商品ですので、投資信託が有する基準価額変動リスクによってお客さまに損失が生じることとなるおそれがあります。 ● 本商品の運用の損益は、すべてお客さまに帰属し、お受取金額が投資元本を下回る可能性があります。 ● 投資対象とする投資信託の基準価額の変動要因には、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、外貨建資産に投資する場合は為替リスク等もあります。

(参考)過去 1 年間および過去 5 年間の収益率

● 本商品のモデルポートフォリオ累積収益率(投資一任運用に係る報酬および信託報酬控除後)

コース名		リスク分散コース成長型		下方リスク抑制コース ファンドマネージャー型
		ヘッジファンドあり	ヘッジファンドなし	—
過去 1 年間		+13.4%	+15.3%	+6.7%
過去 5 年間	平均	+2.4%	+3.8%	—
	最低(時期)	▲7.4%(2022 年 12 月)	▲6.8%(2022 年 12 月)	—
	最高(時期)	+13.4%(2024 年 3 月)	+16.6%(2021 年 3 月)	—

過去 1 年間の収益率は、2023年 3 月末～2024年 3 月末における累積収益率。過去 5 年間の収益率は、2019年 4 月～2024年 3 月の各月末における直近 1 年間の累積収益率の平均、最低、最高値。下方リスク抑制コースファンドマネージャー型は、2022 年 10 月 24 日のお取り扱い開始から 5 年経過していないため過去 5 年間の収益率を掲載していません。モデルポートフォリオ累積収益率(投資一任運用に係る報酬および信託報酬控除後)の作成基準、運用コース/スタイル別の累積収益率は別紙ご参照。

※損失リスクの内容の詳細は「「MUFG ファンドラップ」のお申込みにあたって」(以下「契約締結前交付書面」)の「1.損失が生じることとなるおそれがある場合」に記載しています。

次のような
ご質問があれば、
お問合せください

Q4:上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
Q5:相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3.費用(本商品の保有には費用が発生します。)

購入時に支払う費用	ございません。
継続的に支払う費用	お客さまにご負担いただく費用については直接ご負担いただく費用(投資一任運用に係る報酬)と、間接的にご負担いただく費用(投資対象に係る費用)があります。ご負担いただく費用の合計は、次の費用を足し合わせた金額となります。

MUFG 三菱UFJ信託銀行

	● 直接ご負担いただく費用 投資一任運用に係る報酬には、固定報酬型と成功報酬型があります。お預り財産の時価評価額に対して、固定報酬型は最大 1.309%(年率・消費税を含む)を乗じた額の固定報酬(残高手数料および投資顧問料)を、成功報酬型は最大 1.122%(年率・消費税を含む)を乗じた額の固定報酬(残高手数料および投資顧問料)をお支払いいただきます。 当初運用開始日から 2 年(運用資金待機コース選択期間を含む)を経過した場合、経過した日の属する計算期間の翌計算期間以降の報酬率(残高手数料率、投資顧問料率)は 70%の料率を適用いたします。ただし、成功報酬型をご選択の場合、成功報酬の料率には割引が適用されません。(残高手数料と投資顧問料の詳細については別紙ご参照) ● 間接的にご負担いただく費用 組入投資信託ごとに運用管理費用(信託報酬)および信託事務の諸費用(監査費用を含む)等、間接的にご負担いただく費用が設定されており、日々の基準価額に反映されています(運用管理費用(信託報酬)は、各組入投資信託の信託財産の純資産総額に対して、最大 2.20%(年率・消費税を含む))。組入投資信託によっては、信託財産留保額が設定されており、換金する際にご負担いただく場合があります(換金時の基準価額に対して、最大 0.50%)。信託報酬等の諸費用や信託財産留保額の詳細については、「運用計画書」に個別銘柄毎の具体的な料率を記載しています。
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	成功報酬型は、残高手数料と投資顧問料に加え、投資一任財産の増加額(以下、「超過収益」といいます。)に対して 11%(年率・消費税を含む)の成功報酬をお支払いいただきます。超過収益は、当年末時価評価額とハイウォーターマークとの差分を超過分として計算します。

※上記以外に生じる費用を含めて詳細は、契約締結前交付書面の「7.報酬・費用に関する事項」に記載しています。

次のようなご質問があれば、お問合せください	Q6:私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれの費用が実際にいくらかかるのか説明してほしい。 Q7:費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4. 換金・解約の条件(本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

- 解約および一部出金(一部解約)は運用開始日の 3 ヶ月後の応当日から、毎営業日、お申込みが可能です。
- 一部出金は、申込日から指定預金口座へのご入金まで、1 ヶ月程度かかります。
- 本契約が解約され、または本契約の終了事由が生じた時から契約終了まで、1 ヶ月程度かかります。なお、組入投資信託の海外休日によるファンド休業日等により時間を要することがあり契約終了が遅れることもあります。

※詳細は契約締結前交付書面の「4.商品概要」に記載しています。

次のようなご質問があれば、お問合せください	Q8:私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

- お客さまが本商品を契約している期間中、当社はお客さまより、前述の投資一任運用に係る報酬に加えて、投資対象となる投資信託を設定する法人から信託報酬のうち最大 0.055%(年率、消費税等を含む)の報酬をいただきます。これらは顧客口座の管理、購入後の情報提供等、ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価です。
- 投資対象となる投資信託は、原則として「三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社」が設定する投資信託です。三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社が投資信託の委託会社としてお客さまが間接的に負担される投資信託の信託報酬の一部を受領します。
- 当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、当社ホームページ「お客さま本位の業務運営」の 1.および 3.(4)をご覧ください。

https://www.tr.mufg.jp/ir/fiduciary/index.html#fd03

次のようなご質問があれば、お問合せください	Q9:あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社ではどのような対策を講じているのか。

6.租税の概要(NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください)

- お客さまの契約資産は、国内投資信託により運用されますので、換金(解約)時および償還時の投資信託の譲渡による利益及び分配時の収益分配金については、適用される税率にしたがって課税されます。また、投資信託の譲渡による利益は、投資信託の譲渡価額と取得価額との差分により計算されます。当社のファンドラップでは投資一任契約に基づき当社の裁量により投資信託の取得及び譲渡を行いますので、取得価額が変動します。これに伴い、譲渡による利益も変動します。
- 特定口座の「源泉徴収あり口座」での取引の場合、契約終了時に、保有している国内投資信託の時価評価額の合計がご契約金額を上回っていても、譲渡益にかかる源泉徴収税や未払いの投資一任運用に係る報酬の控除等により、お受取金額がご契約金額を下回る場合があります。
- この商品は当社での NISA ではお取り扱いを行っておりません。iDeCo でのお取り扱いはありません。

※詳細は契約締結前交付書面の「8.租税に関する事項(一般的な租税の取扱いについて)」に記載しています。

7.その他参考情報(契約に当たっては、次の書面をよくご覧ください)

契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「MUFG ファンドラップパンフレット」、契約締結前交付書面および「重要情報シート(本紙)」については、ご希望があれば、冊子もしくは紙でお渡しします。

「重要情報シート」(個別商品編/ファンドラップ)

MUFG ファンドラップ(別紙)

✧ モデルポートフォリオ累積収益率(投資一任運用に係る報酬および信託報酬控除後)の作成基準について

本資料におけるモデルポートフォリオ累積収益率については、MUFG ファンドラップの投資対象となる投資信託の基準価額(信託報酬が控除された価額)と、各運用コース/スタイル毎の組入比率をもとに算出しております。なお本累積収益率は、税金を考慮しておりません。報酬は、各対象期間における固定報酬型の最大残高手数料と最大投資顧問料の合計を使用しています。2022 年 10 月 23 日までは 1.540%(年率、消費税を含む)、2022 年 10 月 24 日以降は 1.309%(年率、消費税を含む)、2023年4月1日以降は、リスク分散コースは1. 309%(年率、消費税を含む)、下方リスク抑制コースファンドマネージャー型は0. 935%(年率、消費税を含む)を日割りで算出しています。本データは、モデルポートフォリオの結果によるものであり、実際の運用実績とは異なります。また、将来の運用成果等を保証するものではありません。

✧ MUFG ファンドラップの運用コース/スタイル別のモデルポートフォリオ累積収益率(投資一任運用に係る報酬および信託報酬控除後)について

● (参考)過去 1 年間の収益率(2023 年 3 月末～2024 年 3 月末の累積収益率)

コース	リスク分散コース(ヘッジファンドあり)			リスク分散コース(ヘッジファンドなし)			下方リスク抑制コース
スタイル	安定成長型	成長型	積極追求型	安定成長型	成長型	積極追求型	ファンドマネージャー型
収益率	+9.5%	+13.4%	+17.6%	+10. 8%	+15.3%	+20.1%	+6.7%

● (参考)過去 5 年間の収益率(2019 年 4 月～2024 年 3 月の各月末における直近 1 年間の累積収益率の平均、最低、最高値)

コース		リスク分散コース(ヘッジファンドあり)			リスク分散コース(ヘッジファンドなし)			下方リスク抑制コース
スタイル		安定成長型	成長型	積極追求型	安定成長型	成長型	積極追求型	ファンドマネージャー型※
収益率	平均	+1.5%	+2.4%	+4.2%	+2.5%	+3.8%	+6.0%	—
	最低	▲7.8%	▲7.4%	▲6.7%	▲7.3%	▲6.8%	▲6.9%	—
	最高	+10.1%	+13.4%	+18.4%	+12.5%	+16.6%	+24.2%	—

最低:リスク分散コースについて、安定成長型ヘッジファンドあり・安定成長型ヘッジファンドなし・成長型ヘッジファンドあり・成長型ヘッジファンドなし・積極追求型ヘッジファンドありは、2022 年 12 月の月末における直近 1 年間の累積収益率、積極追求型ヘッジファンドなしは、2020年3月の月末における直近 1 年間の累積収益率

最高:リスク分散コースについて、安定成長型ヘッジファンドあり・安定成長型ヘッジファンドなし・成長型ヘッジファンドなし・積極追求型ヘッジファンドあり・積極追求型ヘッジファンドなしは、2021年3月の月末における直近 1 年間の累積収益率、成長型ヘッジファンドありは、2024年3月の月末における直近 1 年間の累積収益率

※下方リスク抑制コースファンドマネージャー型は、2022 年 10 月 24 日のお取り扱い開始から 5 年経過していないため過去 5 年間の収益率を掲載していません。

✧ 投資一任運用に係る報酬について

報酬の計算期間中における投資一任財産の日次時価平均残高に対して、以下料率で四半期ごとに後払いにてお支払いいただきます。原則として、計算基準日(毎年 3 月、6 月、9 月、12 月の各末日)を含む月の翌月の当社の定める日に申し受けます。
成功報酬型をご選択の場合、投資顧問料と残高手数料に加え、別途成功報酬を年 1 回後払いにてお支払いいただきます。
当初運用開始日から 2 年(運用資金待機コース選択期間を含む)を経過した場合、経過した日の属する計算期間の翌計算期間以降の報酬率(残高手数料率、投資顧問料率)は 70%の料率を適用いたします。ただし、成功報酬型をご選択の場合、成功報酬の料率には割引が適用されません。

● 固定報酬型(年率・消費税を含む)
リスク分散コース

計算基準額	残高手数料率	投資顧問料率	合計	2 年経過後(30%引き下げ)
3,000 万円以下の部分	0.98175%	0.32725%	1.30900%	0.91619%
3,000 万円超 1 億円以下の部分	0.93500%	0.28050%	1.21550%	0.85085%
1 億円超 5 億円以下の部分	0.70125%	0.23375%	0.93500%	0.65439%
5 億円超の部分	0.46750%	0.18700%	0.65450%	0.45815%

下方リスク抑制コース ファンドマネージャー型

計算基準額	残高手数料率	投資顧問料率	合計	2 年経過後（30%引き下げ）
3,000 万円以下の部分	0.70400%	0.23100%	0.93500%	0.65450%
3,000 万円超 1 億円以下の部分	0.66000%	0.19800%	0.85800%	0.60060%
1 億円超 5 億円以下の部分	0.49500%	0.16500%	0.66000%	0.46200%
5 億円超の部分	0.33000%	0.13200%	0.46200%	0.32340%

● 成功報酬型（年率・消費税を含む）

リスク分散コース

計算基準額	残高手数料率	投資顧問料率	合計	2 年経過後（30%引き下げ）
3,000 万円以下の部分	0.98175%	0.14025%	1.12200%	0.78529%
3,000 万円超 1 億円以下の部分	0.93500%	0.11682%	1.05182%	0.73623%
1 億円超 5 億円以下の部分	0.70125%	0.09350%	0.79475%	0.55627%
5 億円超の部分	0.46750%	0.07007%	0.53757%	0.37620%

下方リスク抑制コース ファンドマネージャー型

計算基準額	残高手数料率	投資顧問料率	合計	2 年経過後（30%引き下げ）
3,000 万円以下の部分	0.70400%	0.09900%	0.80300%	0.56210%
3,000 万円超 1 億円以下の部分	0.66000%	0.07700%	0.73700%	0.51590%
1 億円超 5 億円以下の部分	0.49500%	0.06600%	0.56100%	0.39270%
5 億円超の部分	0.33000%	0.04400%	0.37400%	0.26180%

✧ お客さまにご負担いただく費用の概算について

2024 年 5 月 20 日時点

コース	スタイル	お客さまにご負担いただく費用の概算(年率・消費税を含む)					
		当初 2 年間			2 年経過後		
		直接ご負担いただく費用	間接的にご負担いただく費用	合計	直接ご負担いただく費用(30%引き下げ)	間接的にご負担いただく費用	合計
リスク分散コース	安定成長型ヘッジファンドあり	1.309%	0.556%	1.865%	0.916%	0.556%	1.473%
	安定成長型ヘッジファンドなし		0.499%	1.808%		0.499%	1.416%
	成長型ヘッジファンドあり		0.565%	1.874%		0.565%	1.481%
	成長型ヘッジファンドなし		0.509%	1.818%		0.509%	1.425%
	積極追求型ヘッジファンドあり		0.575%	1.884%		0.575%	1.492%
	積極追求型ヘッジファンドなし		0.521%	1.830%		0.521%	1.437%
下方リスク抑制コース	ファンドマネージャー型	0.935%	0.230%	1.165%	0.655%	0.230%	0. 884%

※直接ご負担いただく費用とは、投資一任運用に係る報酬のことです。固定報酬型の最大残高手数料率と最大投資顧問料率の合計を適用しています。小数点以下 3 桁まで表示しています。

※間接的にご負担いただく費用とは、投資信託ごとの運用管理費用(信託報酬)および信託事務の諸費用(監査費用を含む)等のことです。最大の料率を適用し、各コース・スタイルの基本ポートフォリオの投資割合に応じて加重平均した概算値です。小数点以下 3 桁まで表示しています。

投資信託によっては、換金する際に信託財産留保額をご負担いただく場合がありますが、基準日(2024 年 5 月 20 日)時点では信託財産留保額をご負担いただく投資信託はありません。

※小数点以下 3 桁まで表示しているため、「直接ご負担いただく費用」と「間接的にご負担いただく費用」を足したものと「合計」が一致しないことがあります。

※間接的にご負担いただく費用のうち、販売会社(当社)がいただく手数料は、リスク分散コースは 0.043%、下方リスク抑制コースファンドマネージャー型は 0.020%となります。

※投資対象となる投資信託は、原則として「三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社」が設定する投資信託です。

✧ 各コース・スタイルのリスク・期待リターンについて

リスク・期待リターン値（報酬控除後）（2024年度運用計画）

コース	リスク分散コース						下方リスク抑制コース
スタイル	安定成長型ヘッジファンドあり	安定成長型ヘッジファンドなし	成長型ヘッジファンドあり	成長型ヘッジファンドなし	積極追求型ヘッジファンドあり	積極追求型ヘッジファンドなし	ファンドマネージャー型
リスク	6.7%	7.3%	8.3%	8.9%	10.1%	10.9%	4.2%
期待リターン（報酬控除後）	2.0%	2.3%	2.8%	3.2%	3.8%	4.3%	1.8%

※上記に掲載のリスクと期待リターンは、過去の指数等を用いたシミュレーションであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、リスクは標準偏差を指します。報酬として、固定報酬型の最大残高手数料と最大投資顧問料の合計（リスク分散コース：1.309%、下方リスク抑制コースファンドマネージャー型：0.935%）（年率・消費税を含む）、基本ポートフォリオの投資割合で投資対象の投資信託を均等に保有したと仮定した場合の信託報酬相当（年率・消費税を含む）を控除しています。また、税金は考慮しておりません。

【ご参考】期待リターン値（2024 年度運用計画）と総コスト

コース	リスク分散コース						下方リスク抑制コース
スタイル	安定成長型ヘッジファンドあり	安定成長型ヘッジファンドなし	成長型ヘッジファンドあり	成長型ヘッジファンドなし	積極追求型ヘッジファンドあり	積極追求型ヘッジファンドなし	ファンドマネージャー型
期待リターン（報酬控除前）	3.842%	4.118%	4.671%	5.024%	5.637%	6.115%	2.973%
総コスト	1.865%	1.808%	1.874%	1.818%	1.884%	1.830%	1.165%
期待リターン（報酬控除後）	1.977%	2.310%	2.797%	3.206%	3.753%	4.285%	1.808%

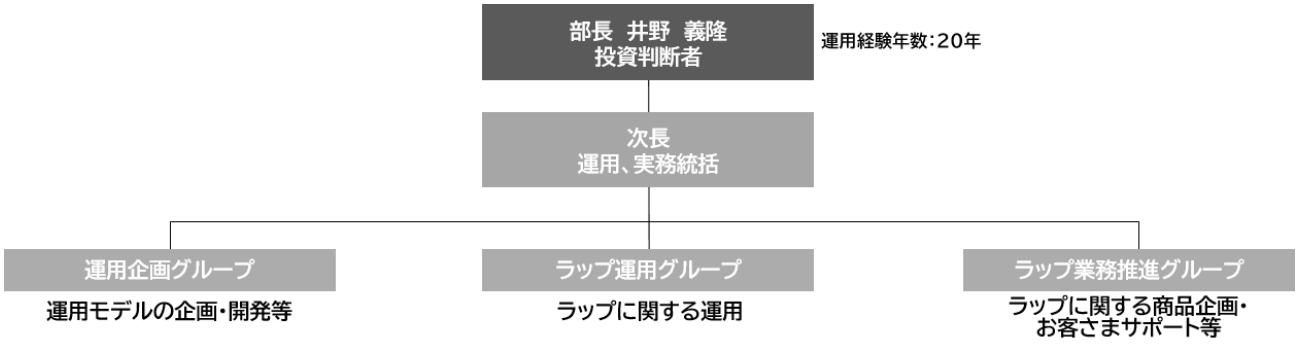
※期待リターン（報酬控除前）は以下のように算出しています。
期待リターン（報酬控除前）＝総コスト＋期待リターン（報酬控除後）

※上記に掲載の期待リターンは過去の指数等を用いたシミュレーションであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
また、小数点以下 3 桁まで表示しています。

※総コストは、直接ご負担いただく費用（投資一任運用に係る報酬）と、間接的にご負担いただく費用（投資信託ごとの運用管理費用（信託報酬）および信託事務の諸費用（監査費用を含む）等）の合計のことであり、小数点以下 3 桁まで表示しています。税金は考慮しておりません。なお、間接的にご負担いただく費用は最大の料率を適用し、各コース・スタイルの基本ポートフォリオの投資割合に応じて加重平均した概算値です。

✧ 運用体制について

運用は、受託財産部門に属する投資顧問業務部が担当しています。投資顧問業務部は個人のお客さまの運用を専門で担当する部署として 2023 年 4 月に発足し、ファンドラップの運用等に加え、ラップの商品企画やお客さまのサポート等を担っています。



✧ MUFG ファンドラップにおけるリスクについて

MUFGファンドラップ(以下、「ファンドラップ」といいます)は、国内および外国の株式や債券等に投資する投資信託を投資対象としておりますので、お受取り金額が投資元本を下回ることがあります。これらの運用成果は全てお客さまに帰属します。
投資対象とする投資信託の基準価額の変動要因には、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、外貨建資産に投資する場合は為替リスク等もあります。

✧ MUFG ファンドラップに関するその他重要事項について

ファンドラップでは、投資一任契約に基づく運用を行います。預金とは異なり元本および利回りの保証はありませんので、運用成果は全てお客さまに帰属します。また、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。ただし、別途開設するファンドラップ預り金管理口座は預金保険制度の対象となります。
ファンドラップのお申込みにあたりましては、事前にパンフレット、契約締結前交付書面等をお渡しいたしますので、内容をご確認ください。
ファンドラップには、クーリング・オフ制度は適用されません。

商号等 三菱UFJ信託銀行株式会社
登録金融機関 関東財務局長(登金)第 33 号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会